



教弘とやま

第135号

令和6年11月15日発行



令和6年度 教育振興助成贈呈式 於:高志会館



発行
富山市西中野町1-1-18(オフィス西中野内)
公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部
TEL 076-464-3703 FAX 076-464-9818
URL <https://www.kyoko-toyama.jp>
E-mail toyama@nikkyoko.or.jp
株式会社 富山教弘
TEL 076-461-6614

もくじ

プロフェッショナル	2
教育振興助成贈呈式	3
令和6年度教育振興事業	4~5
令和6年度文化事業	6
教弘保険加入の皆様へ	7
事務局だより・貸与奨学生募集	8



令和6年度 教育振興助成贈呈式

10月8日 (火) 於：高志会館

本県教育の充実発展に寄与することを願い、次の助成を行いました。

・教育実践研究論文教育賞 ・課題研究教育賞 ・教育団体研究助成

お礼の言葉 (要旨)

氷見市立北部中学校
校長 櫻打 佳浩 様

予測困難で急激に変化する時代の中、学校教育には、一人一人の子供が自分のよさや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながら課題を克服し、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められています。また、生徒指導上の課題の増加、通常の学級に在籍する発達障害の児童生徒や外国人児童生徒数の増加等により、多様化する子供たちに対して個別最適な学びを実現しながら、学校の多様性と包摂性を高めることも必要となっています。

このように学校に求められることが多岐にわたる中、学校が生徒にとって安心して生活できる場となり、自分らしく自己表現し協働的な議論ができるよう、一校長としてできることはないかと考え、今回の実践に取り組みました。試行錯誤の中で、一つ一つの取組を提案しながら進めたわけですが、教職員が校長の示す方向性を理解し、特に対話を軸とした学びにおいては、よりよい実践になるよう努力した成果が、今回の受賞につながったのではないかと感じている次第でございます。校長の期待を超える素晴らしい教職員に恵まれましたこと、感謝の念に堪えません。

本日助成を賜りました私たちは、それぞれの立場でさらに研鑽を重ね、本県教育の発展のため、一層尽力して参る所存でございます。

令和6年度 教育研究助成 ～富山県教育の振興のために～

●教育実践研究論文教育賞			●教育団体研究助成		
《学校部門》					
賞	学 校 名	氏 名		団 体 名	代表者
最 優 秀 賞	氷 見 市 立 北 部 中 学 校	校 長 櫻 打 佳 浩	1	富山県小学校長会	石田 和義
優 良 賞	射水市立中太閤山小学校	校 長 堀 かおり	2	富山県中学校長会	水戸 英之
優 良 賞	射水市立放生津小学校	校 長 赤 尾 秀 康	3	富山県高等学校長協会	田中 宏育
《個人部門》			4	富山県小中学校長協会	池永 美子
賞	学 校 名	氏 名	5	富山県国公立幼稚園・こども園長会	黒田 卓
優 秀 賞	入 善 町 立 桃 李 小 学 校	教諭 岩山 直樹	6	富山県公立小中学校教頭会	吉川 浩二
優 秀 賞	富山市立藤ノ木中学校	教諭 五十嵐沙紀	7	富山県高等学校教頭会	荒川 剛
優 良 賞	富山市立藤ノ木中学校	教頭 山崎 陽江	8	富山県小学校教育研究会	松倉 美華
《個人奨励賞》			9	富山県中学校教育研究会	瀬戸 広美
賞	学 校 名	氏 名	10	富山県高等学校教育研究会	番留 幸雄
個人奨励賞	富 山 市 立 堀 川 小 学 校	教諭 米原 史剛	11	富山県教職員組合	能澤 英樹

●課題研究教育賞（令和5年度報告 654 件中の優秀研究）			《優秀賞》			《優良賞》		
	学 校 名	氏 名		学 校 名	氏 名		学 校 名	氏 名
1	滑川市立田中小学校	山林 耕大	11	富山市立光陽小学校	木村 真樹	1	入善町立黒東小学校	惣万紗千乃
2	富山市立大広田小学校	太田 風紗	12	射水市立下村小学校	神名 寛朗	2	富山市立新庄小学校	上野友里愛
3	富山市立藤ノ木小学校	松倉 実希	13	高岡市立野村小学校	石野 友希	3	富山市立山室中部小学校	木村 祐希
4	富山市立水橋中部小学校	小澤 麻裕	14	小矢部市立津沢小学校	篠嶋 純花	4	富山市立太田小学校	小澤 彩
5	富山市立堀川小学校	長谷川仁義	15	富山市立藤ノ木中学校	高倉 笙子	5	富山市立西田地方小学校	二木貴久子
6		太田 聖久	16		柳 健太	6	富山市立中央小学校	上嶋 壮太
7	富山市立新保小学校	小澤 昭吾	17	富山市立八尾中学校	畑佐 知弘	7	富山市立東部小学校	小幡 真衣
8	富山市立芝園小学校	窪田 裕子	18	小矢部市立津沢中学校	亀谷 杏菜	8	富山市立光陽小学校	荒城 光
9	富山市立西田地方小学校	平宮 可那	19	富山県立氷見高等学校	斉田 大輝	9	高岡市立野村小学校	澤田 絵吏
10	富山市立中央小学校	堀 芳聡	20	富山県立富山聴覚総合支援学校	鍵主 紘子	10	富山県立となみ総合支援学校	永井 桐雅

令和6年度

教育研究助成

～富山県教育の振興のために～

●教育研究大会助成

	研究大会名	開催期日
1	令和6年度富山市立堀川小学校第95回教育研究実践発表会	5/31～6/1
2	令和6年度教育研究協議会	6/7
3	令和6年度富山県特別支援教育研究会 第71回富山県特別支援教育研究協議会 全体研修会	6/14
4	令和6年度保育フォーラム	6/21
5	令和6年度富山県特別支援学校知的障害教育研究協議会 全体研修会	8/5
6	令和6年度富山県養護教諭会夏季研修会	8/6
7	第22回造形教材研究会 第55回富山県造形教育作品展 第27回富山県造形シンポジウム	8/7～11/24
8	日本教育大学協会養護教諭部会 全国国立大学附属学校連盟養護教諭部会 第59回研究協議会並びに総会	8/8～8/9
9	令和6年度砺波市生徒指導の在り方研究大会	8/8
10	令和6年度富山県肢体不自由教育研究協議会研究大会	8/9
11	令和6年度富山県公立学校事務職員合同研究発表大会 (小中学校)	8/22
12	令和6年度富山県公立学校事務職員合同研究発表大会 (県立学校)	8/22
13	第46回自啓教育研究発表会	9/25
14	第59回教育実践研究会	10/5
15	第29回富山県中学校文化祭	10/6
16	2024年度中部西ブロック・ユネスコ活動研究会 in 富山	10/19
17	第67回 (令和6年度) 富山県理科教育研究発表会	11/21
18	2024年度教育研究発表会	11/22
19	富山県小学校バンドフェスティバル	12/1
20	令和6年度公開教育研究会	12/13
21	富山県栄養教諭等研究大会	2/18
22	令和6年度小学校教育課程研究集会 (28会場)	11/6～11/7
23	第68回富山県中学校教育課程研究大会 (33会場)	10/9～10/16

- ◆貸与奨学金 19 人に総額 1,600 万円を貸与しました。
- ◆給付奨学金 高等学校等 3 年生 43 人に総額 430 万円を給付しました。
- ◆教育助成 中学校・高等学校・義務教育学校及び特別支援学校（中学部・高等部）79 校に総額 237 万円を助成しました。

●教育実践研究論文助成

《学校部門》		
	学 校 名	学 校 名
1	富山市立大庄小学校	11 南砺市立井波小学校
2	富山市立宮野小学校	12 南砺市立福光中部小学校
3	富山市立保内小学校	13 富山市立堀川中学校
4	富山市立呉羽小学校	14 富山市立上滝中学校
5	富山市立池多小学校	15 富山市立八尾中学校
6	富山市立奥田北小学校	16 射水市立射北中学校
7	射水市立歌の森小学校	17 射水市立小杉中学校
8	射水市立下村小学校	18 射水市立小杉南中学校
9	小矢部市立津沢小学校	19 砺波市立庄川中学校
10	南砺市立上平小学校	20 富山県立富山高等支援学校

《個人部門》

	学 校 名	氏 名
1	射水市立大島小学校	教諭 海老澤 健一
2	富山市立奥田中学校	教頭 岡村 紀子
3	富山市立八尾中学校	教諭 江尻 小春
4	富山県立富山高等学校	教諭 猪又 健太
5	富山県立南砺福野高等学校	教諭 安谷 佳浩

●文化振興助成

	事 業 名	開催期日
1	2024年度富山ユネスコ協会活動	4月～3月
2	令和6年度第42回富山県青少年音楽コンクール等	3/15
3	海・川の森づくり推進事業	4月～3月
4	子どものための“フルート音楽教室”	7月～12月
5	富山ESD推進パートナーシッププロジェクト	5月～2月
6	郷土を愛する心の育み	12/22
7	夢につながるマンガ文化プロジェクト	6月～3月

●課題研究助成

	学 校 名	人数		学 校 名	人数		学 校 名	人数		学 校 名	人数
1	あさひ野小	3	31	鵜坂小	9	61	野村小	12	91	山室中	9
2	黒東小	3	32	宮野小	4	62	古府小	3	92	月岡中	3
3	ひばり野小	2	33	古里小	4	63	牧野小	8	93	呉羽中	2
4	桃李小	2	34	音川小	5	64	高・太田小	1	94	水橋中	2
5	星の杜小	5	35	杉原小	2	65	南条小	5	95	藤ノ木中	5
6	道下小	1	36	保内小	3	66	戸出東部小	1	96	上滝中	6
7	寺家小	4	37	神明小	3	67	石動小	5	97	速星中	8
8	滑・南部小	4	38	老田小	2	68	大谷小	4	98	城山中	1
9	利田小	1	39	池多小	2	69	小・東部小	2	99	八尾中	4
10	大広田小	4	40	芝園小	5	70	津沢小	3	100	新湊中	1
11	豊田小	10	41	西田地方小	2	71	砺波東部小	10	101	小杉南中	1
12	八幡小	2	42	富・中央小	7	72	砺波南部小	1	102	大門中	4
13	草島小	1	43	柳町小	3	73	庄川小	2	103	志貴野中	9
14	倉垣小	5	44	奥田小	4	74	城端小	4	104	氷・北部中	8
15	水橋西部小	2	45	奥田北小	2	75	井波小	2	105	出町中	10
16	水橋東部小	1	46	光陽小	7	76	福野小	8	106	般若中	2
17	三成小	3	47	作道小	4	77	福光中部小	5	107	庄川中	4
18	新庄北小	6	48	堀岡小	1	78	福光南部小	3	108	国吉義務教育学校	5
19	堀川小	4	49	東明小	6	79	福光東部小	4	109	南砺つばき学舎	4
20	堀川南小	11	50	小杉小	9	80	朝日中	6	110	新湊高	1
21	山室小	8	51	金山小	2	81	入善中	4	111	福岡高	1
22	山室中部小	2	52	中太閣山小	6	82	入善西中	2	112	高朋高等学校	2
23	蜷川小	6	53	大門小	9	83	滑川中	4	113	富山聴覚総合支援	2
24	熊野小	7	54	大島小	12	84	早月中	3	114	しらとり支援	1
25	月岡小	3	55	五位小	6	85	芝園中	1	115	となみ総合支援	1
26	新保小	8	56	福岡小	7	86	堀川中	4	116	富山総合支援	4
27	大沢野小	3	57	木津小	4	87	富・東部中	4	117	富山高等支援	1
28	大久保小	7	58	成美小	2	88	富・南部中	9			
29	上滝小	2	59	能町小	7	89	富・北部中	1			
30	大庄小	4	60	二塚小	2	90	岩瀬中	1			

※お名前一覧はWEB
サイト「教弘とやま
135号」で掲載します。



● 日教弘をサポートする会員を募集しています ●

「たすけあい」の輪を広げよう。

ご入会についてのご案内

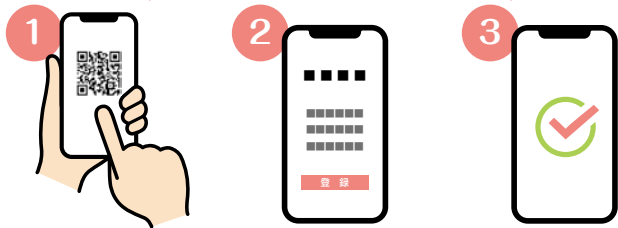
- WEB または入会申込書にてご入会ください。
- 会費等費用は、一切不要です。
- 会員になられた方は、当会の共済事業に加入することができます。
- 入会された方には、会員証をお送りします。会員証には、福利厚生をサポートする『日教弘クラブオフ』の利用証が付帯されます。

WEBからの
入会は
こちらから！

ご入会は 24 時間いつでもどこでも
スマホ・タブレットで登録できます。



＼カンタン3ステップ登録！／



読み取り

新規登録
会員情報を入力

送信して
登録完了！

※会員登録が済みましたら会員証をお送りいたします。会員証到着後から日教弘クラブオフが利用可能となります。



令和6年度

教育研究助成

～富山県教育の振興のために～

●課題研究助成

	学 校 名	氏 名
1	あさひ野小	宮坂 達哉
2		深松 大
3		山口 季記
4	黒 東 小	能登 成美
5		惣万 紗千乃
6		高縁 朱里
7	ひばり野小	村中 美智
8		坂藤 有梨
9	桃 李 小	横田 智哉
10	星 の 杜 小	鈴木 千佳
11		宮崎 勇斗
12		沼田 美咲
13		野尻 美里
14		柏木 菜緒
15	道 下 小	石川 舜大
16		川原 美冬
17	寺 家 小	寺崎 綾乃
18		高木 唯
19		谷口 碧
20	滑 . 南部小	新保 彩葉
21		島谷 怜佑
22		松井 桃花
23	利 田 小	伊藤 達成
24		福島 菜乃子
25	大 広 田 小	奥村 幹
26		今村 友香
27		柳瀬 亮
28	豊 田 小	太田 凧紗
29		金野 美咲
30		成瀬 麻衣
31	草 島 小	辻 晴香
32		堺 明希
33		神田 愛望
34	倉 垣 小	鶴岡 ゆり
35		清水 遼大
36		嶋 拓哉
37	八 幡 小	松岡 泉
38		氷見 瑞基
39		瀧澤 蒼太
40	草 橋 小	瀧澤 紗也佳
41		佐藤 雄大
42	水橋西部小	三浦 柚稀
43		大塚 哲
44		永瀬 由華
45	水橋東部小	北 妃奈乃
46		水嶋 亜衣
47		山崎 彩加
48	三 成 小	白崎 弘宣
49		團野 奏愛
50		青島 龍平
51	新 庄 北 小	水口 凌哉
52		横澤 英公
53		田中 美玖
54		廣野 かおり
55		荒井 優弥花
56	奥 田 小	戸嶋 玲歌
57		飯野 涼河
58		高島 瑠唯
59	大 門 中	松井 美結

	学 校 名	氏 名
60	堀 川 小	番匠 拓也
61		坂本 和香奈
62		田畠 康史
63	堀 川 南 小	押田 彩華
64		小川 ひとみ
65		坂井 優介
66	堀 川 中	松原 悠真
67		河原 幸佑
68		菊地 龍成
69	山 室 小	松岡 尚哉
70		金山 すずな
71		水上 桃子
72	山 室 中 部 小	荻田 真菜
73		水上 瑞紀
74		小林 知可
75	蟻 川 小	柄澤 俊
76		五十嵐 万倫
77		高木 知佳
78	山 室 中	立野 健翔
79		定塚 和也
80		古市 健
81	山 室 中 部 小	奥村 璃乃
82		佐山 結
83		森本 柚
84	蟻 川 中	盛安 楓
85		川村 美貴子
86		中島 彩香
87	熊 野 小	川原 美里
88		森 あゆみ
89		深山 大輔
90	熊 野 中	國富 翼
91		村井 太一
92		田村 瞳望
93	月 岡 小	伊藤 心笑
94		本江 佑衣
95		長島 智大
96	新 保 小	野崎 友晴
97		古谷 友宏
98		弓部 真惟子
99	大 沢 野 小	古野 滉大
100		佐々木 玲奈
101		定田 明
102	新 保 中	中寺 琉奈
103		上田 ありさ
104		大宅 里奈
105	大 久 保 小	小澤 昭吾
106		角谷 早紀
107		草島 あさひ
108	大 久 保 中	小幡 拓馬
109		小林 ゆり
110		高山 嘩夢
111	大 門 中	保本 光輝
112		川原 榛夏
113		才藤 翼
114	奥 田 小	大田 孝憲
115		山出 陸
116		大塚 理紗
117	大 門 中	綱島 斗真
118		中川 功太郎

	学 校 名	氏 名
119	上 滝 小	中野 裕美子
120		山田 千尋
121		鷲尾 玲大
122	大 庄 小	高田 真優
123		茂住 絵莉菜
124		柳田 朱音
125	大 庄 中	西田 莉彩
126		小林 由莉
127		森 隼人
128	鷺 坂 小	石崎 瑞希
129		桑野 穂子
130		平田 佑次朗
131	作 道 小	小林 詠美
132		久住 英子
133		中岡 健人
134	宮 野 小	中岡 健人
135		藤井 千紘
136		清水 優作
137	古 里 小	竹中 彩乃
138		京正 希々香
139		市川 真亜久
140	音 川 小	西澤 拓哉
141		竹内 拓哉
142		浅井 さくら
143	小 杉 小	江田 有花
144		元尾 海渡
145		島倉 拓朗
146	杉 原 小	小林 夏月
147		前 真子
148		竹村 勇希
149	保 内 小	谷山 実優
150		藤田 杏柚
151		若瀬 彩芽
152	神 明 小	井藤 颯人
153		柳原 令奈
154		木村 祐希
155	老 田 小	若林 良輔
156		城山 羽菜
157		松井 恵理香
158	池 多 小	佐伯 真栄
159		戸田 三鈴
160		島林 旺仁亮
161	芝 園 小	広瀬 勇都
162		竹鼻 沙也加
163		大浜 惇
164	西田地方小	北 陽一朗
165		平宮 可那
166		四柳 真子
167	富 . 中央小	上嶋 壮太
168		堀 芳聡
169		入船 晴日
170	柳 町 小	高嶋 春奈
171		徳永 裕樹
172		西尾 この実
173	奥 田 小	岩林 亜弥
174		中田 悠揮
175		真島 大輔
176	大 門 中	前馬 裕樹
177		荒城 菊乃

	学 校 名	氏 名
178	奥 田 小	湯澤 莉世
179		田辺 拓実
180		上野 右京
181	奥 田 北 小	谷 成望
182		西島 苑美
183		荒城 光
184	光 陽 小	木村 真樹
185		石尾 誠一
186		池上 舞子
187	作 道 小	吉田 広輝
188		早苗 桃子
189		千葉 優
190	堀 岡 小	荒木 美乃
191		向井 遼平
192		蘭生 悠人
193	能 町 小	輪達 光司
194		三谷 和可奈
195		竹村 優子
196	東 明 小	牛島 美貴
197		原田 梨央
198		役川 巧真
199	二 塚 小	桧物 典
200		塩谷 美晴
201		吉川 優生
202	小 杉 中	山口 三耶子
203		日高 茜
204		八島 志歩
205	金 山 小	山下 櫻
206		高井 尚子
207		五十嵐 裕児
208	中太閤山小	穴田 玲奈
209		黒田 楓太
210		橋本 歩実
211	大 門 小	橋本 一也
212		大島 永吏
213		三島 一真
214	大 門 中	安田 陽紀
215		杉下 琴音
216		浮橋 萌々
217	牧 野 小	村中 ひかり
218		岸田 美玲
219		本林 風香
220	高 府 小	萩中 睦月
221		八尾 妃名子
222		清雄 大志
223	高 . 太田小	橋本 悠平
224		楠 隆太郎
225		境 優衣
226	南 条 小	中川 拓
227		宮下 集夢
228		永原 元
229	高 府 中	廣田 真由
230		高木 成美
231		島本 佳那
232	戸 出 東 部 小	川添 彬乃
233		福尾 尚久
234		福尾 尚久
235	石 動 小	沖野 実夏
236		磯部 光志
		三井 萌

	学 校 名	氏 名
237	大 島 小	湯澤 莉世
238		田辺 拓実
239		上野 右京
240	五 位 小	谷 成望
241		西島 苑美
242		荒城 光
243	福 岡 小	木村 真樹
244		石尾 誠一
245		池上 舞子
246	津 沢 小	吉田 広輝
247		早苗 桃子
248		千葉 優
249	木 津 小	荒木 美乃
250		向井 遼平
251		蘭生 悠人
252	成 美 小	書川 ともか
253		西島 菜恵
254		三川 知香
255	能 町 小	牛島 美貴
256		盛野 萩花
257		水谷 健志
258	二 塚 小	橋本 瑠璃
259		塩谷 美晴
260		吉川 優生
261	小 杉 小	山口 三耶子
262		日高 茜
263		八島 志歩
264	金 山 小	山下 櫻
265		高井 尚子
266		五十嵐 裕児
267	野 村 小	穴田 玲奈
268		黒田 楓太
269		橋本 歩実
270	中太閤山小	橋本 一也
271		大島 永吏
272		三島 一真
273	大 門 小	安田 陽紀
274		杉下 琴音
275		浮橋 萌々
276	高 府 小	村中 ひかり
277		岸田 美玲
278		本林 風香
279	高 府 中	萩中 睦月
280		八尾 妃名子
281		清雄 大志
282	牧 野 小	橋本 悠平
283		楠 隆太郎
284		境 優衣
285	高 . 太田小	中川 拓
286		宮下 集夢
287		永原 元
288	南 条 小	廣田 真由
289		高木 成美
290		島本 佳那
291	戸 出 東 部 小	川添 彬乃
292		福尾 尚久
293		福尾 尚久
294	石 動 小	沖野 実夏
295		磯部 光志
296		三井 萌
297	高 府 中	廣田 真由
298		高木 成美
299		島本 佳那
300	戸 出 東 部 小	川添 彬乃
		福尾 尚久
		福尾 尚久

	学 校 名	氏 名
7	大 島 小	石田 佳奈子
8	五 位 小	立野 莉沙
9		近藤 瑛莉
0		矢坂 美咲
1		中居 竜汰
2		石田 愛実
3	福 岡 小	杉高 正紀
4		有島 千紘
5		新田 初
6		杉江 真弥
7		窪田 純華
8	木 津 小	石井 聖乃
9		河端 亮太
0		新谷 步
1		橋本 笑佳
2		齊藤 綾乃
3	成 美 小	西村 千鶴
4		中村 深生
5		屋敷 涼香
6		書川 ともか
7		西島 菜恵
8	能 町 小	三川 知香
9		牛島 美貴
0		盛野 萩花
1		水谷 健志
2		橋本 瑠璃
3	二 塚 小	千重 智生
4		山口 三耶子
5		水谷 晶
6		櫻井 悠香子
7		柿畑 美友
8	野 村 小	村藤 早紀
9		向井 幹城
0		大村 麗奈
1		宮崎 完司
2		市村 夏菜江
3	古 府 小	高橋 大吾
4		大居 一真
5		一守 詩穗
6		浮橋 萌々
7		岸田 美玲
8	牧 野 小	笠原 有真
9		細川 百花
0		中山 ぶづき
1		橋本 悠平
2		桶 隆太郎
3	高 . 太田小	境 優衣
4		中川 拓
5		宮下 集夢
6		永原 元
7		廣田 真由
8	南 条 小	高木 成美
9		田所 佳純
0		福尾 尚久
1		沖野 実夏
2		槻尾 里夏
3	戸 出 東部小	富樫 翔己
4		大谷 千佳子
5		中谷 実郁
6		三輪 憲正
7		野村 拓未
8	石 動 小	窪田 陽菜
9		別所 遠香
0		中島 奏汰

教育文化事業報告

富山の魅力発見講座Ⅶに
参加して

富山の魅力発見講座Ⅶから学んだこと

滑川市立東部小学校
教諭 野澤 美朝

岩瀬浜は自分自身プライベートでよく行く場所ですが、これだけたくさんのごみが落ちていたのはとても驚きました。また、そのごみが増えることに自分たちが加担していたことにも驚きました。「ごみを極力減らしたい!」「リサイクルする!」などの思いもきれいな環境をつくるためにとても大切ですが、それはみんなの意識や技術力があることが前提の話なのだと分かりました。一人一人ができることは些細なものです。私たち教員は多くの人と関わる仕事であるため、まずは目の前の子供たちへ呼びかけを行うことが大事だと思います。しかし、現状によってはいくら努力しても無意味になる可能性があることもよく分かりました。ごみ問題に限らずに何か行動する際には、現状を把握してから行動することが大切だと感じました。

本講義のゲームでは富山の町をきれいにしたいという受講者たちの意欲がすごく、とても楽しかったです。大人でもこれほど楽しめるということは子供たちならもっと楽しんでくれそうだと感じたので学級でも取り組んでみたいです。そしてこの講義で得た学びを日々の実践に生かしたいです。

富山の魅力発見講座で学んだこと

滑川市立寺家小学校
教諭 白畑 遥

今回の講座では、CHANGE FOR THE BLUEカードゲームを通じて、海洋ゴミを減らす方法を学びました。特に、海洋ゴミを減らすためには情報共有が重要であり、町での取り組みや結果を広く共有することが必要だという点が強調されました。この話を聞きながら、教員としても同様に情報共有が大切だと感じました。教員同士で取り組みや成果を共有することで、教育方法の選択肢が増え、子供たちに合った教育が提供できると思います。多くの選択肢があれば、子供たちとの関わりも豊かになり、教員自身も楽しく授業ができると考えます。

また、カードゲームでは町全体のバランスを考えながら取り組むことが求められました。この考え方は、学級経営にも応用できます。学級全体の状況を把握し、子供たちの意識や実力に応じた指導方法を考えることで、より良い学級作りができると感じました。今回の講座を通じて得た気付きを、普段の生活や教育現場に生かしていきたいです。

講師：株式会社プロジェクトデザイン 福井信英 氏
日時：令和6年7月26日(金) 9:00～
場所：滑川市民交流プラザ 多目的ホール

富山の魅力発見講座で学んだこと

富山市立豊田小学校
教諭 鶴岡 ゆり

富山の魅力発見講座に参加させていただき、とても充実した時間を過ごすことができました。今回の講座を通して学んだことは、ごみを減らすためには、様々なことが関係するということです。ごみを減らすためには、まず人々のごみを減らそうとする意識が高まることが大切ですが、意識が高まると同時にごみを減らしていく技術も高まっていかないとごみは減っていきません。一方で、ごみを減らすことに意識が向きすぎると、人々が生活に窮屈さを感じてしまうので、バランスが大事だということが分かりました。

また、ごみを減らすためには、協力し合うことが大切だということも学びました。1人で減らせるごみの量は少なくとも、みんなとごみを減らすための取り組みや、あまり効果がないと考えられる取り組みも共有することで、誰かの役に立つということが分かりました。これは、学級経営にも生かせる考えだと思います。どんな考えも共有し合える学級づくりをしていきたいと思っています。海洋ごみのことだけではなく、学級のことについても考えさせられる講座でした。ありがとうございました。

自ら学び、自ら考えるゲーム活用

富山市立上滝中学校
教諭 越坂 亜美

今回、「富山の魅力」と「カードゲーム」がどう組み合わせるのか気になり、参加させていただきました。海洋ごみ問題に関するカードゲームを体験するにあたり、講師の福井先生から海洋ごみ問題や富山湾の状況についてのお話がありました。富山県内の海岸にある漂着ごみの8割が県内河川等から流れてきているという実態を受け、私がイメージしていた「美しい富山の海」と断言できないことに驚きつつ、日常生活と海洋ごみ問題を切り離して考えていた自身の意識の低さを痛切に感じました。

「CHANGE FOR THE BLUEカードゲーム」の体験を通して、「海洋ごみを減らすために自分たちが選んだ役割で何ができるか?」「この行動は今のまの状況に適したものなのか?」について考え、話し合っていくうちに、「ごみを減らそう!」という思いでゲームに熱中している自分がいました。このゲームを通して、「ごみ0」という目標に向かって、自然に周囲と協力して取り組むことができたと共に、より一層海洋ごみ問題を自分事として捉えることができました。また、ゲームを活用して学習していくことは、子供の「自ら学び、自ら考える」力の育成につながるのではないかと、新たな可能性を見つけることもできました。

今回の講座で得た経験や知識を、日常生活や教育現場で、富山の海の豊かさを守るため、そして、子供の学びを充実させるために生かしていきたいです。

教弘保険加入の皆様へ 福祉事業のご案内

教弘保険加入者の特典 ※30歳誕生日以外は申請必要

- | | |
|---------------------------------------|--|
| 1 結婚祝 1万円 | 5 弔慰金 1万円 (本人・配偶者・一親等) |
| 2 出産祝 1万円 | 6 指定宿泊施設利用補助 ※年度5泊まで
3千円(本人)／1千円(同居家族) |
| 3 入学祝 1万円 (大学・短大・専門学校・高専)
5千円 (高校) | 7 健康増進補助 ※退職者は5千円以内
5千円(自己負担額7千円以上 1年おきに) |
| NEW! 4 30歳誕生日祝 ※申請不要
5千円 (図書カード) | 8 鑑賞・観戦補助
美術館企画展鑑賞券 |

健康増進補助

2024年度は「西暦偶数年度生まれ」の方が対象です。

なお、2023年度に受診され、まだ申請されていない方は「受診日から一年以内」であれば申請できます。

例 2023年12月15日受診の場合 申請は「2024年12月14日」まで(事務局必着)
2024年 3月31日受診の場合 申請は「2025年 3月30日」まで(事務局必着)

指定宿泊施設
利用補助

利用券を発行しますので「予約の後、宿泊日の10日前まで」に弘済会へご連絡ください。

当会指定の宿泊施設はこちらからご確認ください→



【ご注意】今年度より「立山高原ホテル」は、当会の宿泊施設利用補助の対象外となりました。予約された施設が当会指定の宿泊施設かどうかは、WEBサイトでご確認いただけます。

日教弘会員の教職員のための教弘保険

特徴

- 集団契約特約を付加することにより低廉な保険料で大きな保障
- 年齢、性別に関係なく同一保険料
- 教職員の相互の助け合いを目的とした制度
- 教弘保険に加入すると加入者としての特典あり
- 富山県教育の振興に貢献

34歳以下の教職員のための

ユース教弘保険

災害割増特約付 集団契約特約付勤労保険

保険期間は5年満了ごとに自動更新され、39歳まで継続します。

死亡保険金
高度障害給付金
1,000万円

月払保険料 1,513円

働き盛りの保障は

新教弘保険A型

集団契約特約付勤労保険

保障期間の終期：65歳

死亡保険金
高度障害給付金
1,000万円

月払保険料 3,510円

80歳まで
保障を継続できます

65歳満了時には健康状態の如何にかかわらず、「新教弘保険」の死亡保険金の範囲内で「新教弘保険K型」(5年更新)にご加入いただけます。加入時・更新時の保険料は年齢・性別によって異なります。(2024. 11. 1 現在)

上記は概要です。詳しくは共済事業(提携保険事業)提携会社ジブラルタ生命保険㈱の「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。



健康増進補助

教職員の人間ドック補助を行います。(対象年度に1回)

自己負担額 **7,000円以上が対象** → **5,000円**の補助

※今年度は西暦偶数年度生まれの方が対象です

※2023年度受診分未申請の方は早めに申請してください

→詳しくは7ページを!

30歳誕生祝 今年度より

教弘保険に加入後、満30歳を迎えられた方へ、感謝の意を込めて図書カードをお贈りします。

(誕生月の翌月10日頃にお送りします)



加入継続祝

教弘保険に加入後、同一保険が満10年・20年・30年に達した加入者に、感謝の意を込めてお贈りします。(11月頃にお届けします。)



生命保険料控除証明書

各学校へ10月上旬に郵送しました。年末調整の申告にご使用ください。



令和7年度 貸与奨学生募集

☎ 076-464-3703

- 募集対象** 大学院、大学、短期大学、高等専門学校（4年生以上）、及び専修学校専門課程に入学または在学者
- 募集人数** 20名程度
- 貸与金額** 修業期間1年につき25万円。**100万円**を限度として、無利息にて一括貸与
- 募集期間** **令和7年2月20日～令和7年4月30日**
- 選考と通知** 選考委員会の選考を経て、結果を通知します。
(5月中旬)
- 奨学金の貸与** 採用決定後、口座振込（6月下旬予定）
- 返還方法** 卒業した年の12月から10年以内（ただし、100万円未満は8年以内）に亘る年賦償還
- 申込方法** 直接当会事務局へ電話でお申し出ください。必要書類・手続き等についてご案内します。



2024年度リタイアメントセミナー開催予定表

開催日	時間	開催場所
11月16日(土)	10:00～12:00	高岡テクノドーム 2F A会議室
11月23日(土)	10:00～12:00	富山県総合情報センター 4F 第一・第二会議室
12月 7日(土)	10:00～12:00	富山県総合情報センター 4F 第一・第二会議室
	14:00～16:00	高岡テクノドーム 2F A会議室

平均寿命が伸びたことだけでなく、定年延長等で生き方や働き方に大きな変化が出てきたことで、豊かに生きていくための人生設計が重要となっています。

共済事業（提携保険事業）提携会社ジブラルタ生命保険株式会社の協力で左記の日程での開催を計画しました。このセミナー開催が教職員の皆さまのお役に立てればと存じます。

◆詳細や参加申込みは、ジブラルタ生命保険株式会社の学校担当LC（ライフプラン・コンサルタント）にお尋ねください。

公益財団法人日本教育公務員弘済会（略称（公財）日教弘）の教育振興事業（奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業）及び福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。